

政府情報システムの統合・集約化に際して政府共通プラットフォームに求められる情報セキュリティ対策

① 政府統一基準等に基づく行政情報システム一般に求められる対策を講じる必要。

【全体方針の検討】

- ✦ 政府共通プラットフォームにおける全般的なセキュリティレベル設定方法の考え方
- ✦ 政府共通プラットフォーム上に保存される情報の管理主体の考え方 等

② スケールメリットを活かした効率的な可用性、信頼性の向上等を進める必要。

【より効率的なセキュリティ向上策の検討】

- ✦ バックアップのためのインフラ、ハードウェア等の冗長化
- ✦ 24時間監視体制の整備
- ✦ ネットワーク回線設備（霞が関WAN）の容量等の増強、冗長化 等

③ 加えて、異種システムが混在する環境下において、局所的なリスク・障害が、他の箇所・システムに伝搬し悪影響を及ぼすことを、極小化する必要があるのではないかと？

【仮想化環境における特殊性を解消する方策の検討】

- ✦ ボトルネックとなるハイパーバイザ（仮想化ソフト）のセキュリティ強化
- ✦ マルチテナント性確保のためのユーザデータの保護策
- ✦ ITシステムにおけるデータ保護策（暗号化、アクセス制御、改変検知、確実な消去等）
- ✦ 異なるセキュリティポリシーの集約の仕方 等

		情報セキュリティ対策の観点			
		組織・体制面	人材面	技術面	運用面
保護すべき対象	データ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割、責任 ・ データ管理（情報資産管理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要員教育 ・ 個人適正 ・ データ操作 ・ 要員スキル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暗号化 ・ アクセス制御 ・ 保存／消去 ・ 不正検知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックアップ ・ 監査証跡 ・ アカウント／パスワード管理
	ITシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理/運用組織 ・ 役割、権限 ・ 連絡体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要員教育 ・ 個人適正 ・ システム操作 ・ 専門技術者確保（要員スキル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想化環境における各システムの独立性確保 ・ アクセス制御 ・ 不正検知 ・ 負荷分散 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間監視 ・ 仮想化されたサーバの安定運用、保守 ・ 監査証跡 ・ アカウント／パスワード管理
	インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理／運用組織 ・ 役割、体制 ・ バックアップ要員確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要員教育 ・ 設備機器操作 ・ 専門技術者確保（要員スキル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回線 ・ 内部ネットワーク ・ 電源・空調 ・ 耐震、耐火 ・ 落雷・漏水対策 ・ 立地条件 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材管理 ・ 入退室（館）管理 ・ 24時間監視（電源、空調、回線 等）

【注】 上表の黄色欄は、仮想化環境における特殊性が顕著に影響すると思われる事項

【参考資料】政府共通プラットフォームにおける情報セキュリティ対策（俯瞰イメージ）

